

初開催

『ノウフクランチフェア』を開催します！ ～宮城県庁で味わう、農福の恵み～

県では、障害者の工賃(賃金)向上を目指し、農福連携の推進に係る取組を行っています。

本イベントは、障害者就労施設が生産・加工した農産品への理解と支援を広げるとともに、「ノウフク JAS 認証」の認知度を高め、その価値を広く周知することを目的とし、県庁18階のレストランにて、期間限定で新たなランチメニュー(ノウフクランチ)を提供するものです。

農福連携の更なる推進のため、広く県民に情報発信したいと考えておりますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

1. スケジュール (会場：県庁18階レストランぴあ)

試食会

開催日：令和7年12月1日(月) 12:15～12:45

出席者：宮城県知事 村井 嘉浩 氏

(特非)みやぎセルフ協働受注センター 副会長 横山 英子 氏

(社福)仙萩の杜レストランぴあ 管理者 佐藤 耀代 氏

(有)耕佑 代表取締役 伊藤 秀太 氏

(一社)こねくと 代表理事 芦田 伸也 氏

菜園料理家 藤田 承紀 氏(メニュー監修)

ノウフクランチフェア

開催日：令和7年12月3日(水)～5日(金)

提供数：1日50食限定

メニュー：別紙参照



2. イベント効果

- Ⓐ 農福連携及び「ノウフク JAS」に対する親しみや信頼の獲得
- Ⓐ 障害者就労施設が担う「食」のクオリティ PR、社会的意義の認知
- Ⓐ 県内外への販路拡大の機会創出
- Ⓐ 「レストランぴあ」のブランディング向上 など

ノウフク JAS マーク



障害者が生産行程に
携わった食品の農林規格

3. 取材いただく際のお願い

取材いただける場合には、令和7年11月28日(金)正午までに、右上記載の担当課までご連絡ください。

農福連携とは・・・

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。